

所弓便

第27号

【会長挨拶】

石川 淳子

4月24日に第8回所沢市弓道連盟通常総会が2時間にわたり開催されました。藤本市長、石本市議会副議長、中島教育長、秋田市議会議員、並木顧問にもご参加いただきました。皆さま最後まで参加してくださいました。

今回の議題の中で最も重点が置かれたのは、新道場の建設に関することでした。藤本市長から新道場建設に対するお考えを会員に向けてお話しいただいたことで、今後の話し合いが更にスムーズに進んでいくのではないかと思います。

今年度の所弓連は大きく変化することになりそうです。引き続き、会員の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

∞ 各部報告 ∞

（令和3年11月以降の主な出来事）

【全般】

会 員 数

令和4年3月末現在の会員数は180名です。

新 会 員

令和3年12月～令和4年5月までに入会・再入会された皆さんです。（以下、敬称略）

鈴木紗希子 坂本和俊 上野幸子 中村勝俊
佐藤和江 松村和彦 松村清美 佐々木晃子

木下雅美 三上玲子 中田昌吾 榎本光記
原 彌八郎 宇和川千鶴美 西久保杏実
仲丸実里 佐々木優奈 野村優花

昇格・昇段

令和3年12月から令和4年5月までに昇格・昇段された皆さんです。おめでとうございます。

七段： 平山夏子

錬士： 小林孝則

三段： 関口純子 仲野裕昭 前澤朋子
山下翔司

二段： 山下聡子

初段： 坂本和俊

令和3年度所沢市体育協会賞

体育功労賞： 三好啓子

優秀選手賞： 中村徳海

優秀選団体賞：

西部支部（清住洋恵、下田徹、中村徳海）

所沢市弓道スポーツ少年団

（佐藤結、大竹悠理、角倉恵奈）

令和4年度県連長寿表彰者

米寿： 中野昭三

傘寿： 渡邊徳雄、海老名玄、太田明美

【事務局】・【会議・打合せ関係】

【令和3年12月】

- 6日 体育功労賞、優秀選手賞、優秀団体賞
推薦状をスポーツ振興課に提出
- 11日 新道場建設近隣説明訪問（設計事務所
2名、石川会長、嶺）
- 17日 「北中運動場貸付用地に関する中間覚
書」を所沢市と締結（石川会長、嶺）
- 19日 第20回新道場建設委員会
（NPO理事、監事、建設委員9名、
設計事務所2名出席）

【令和4年1月】

- 9日 第21回新道場建設委員会(NPO 理事、監事、建設委員10名、設計事務所2名出席)
- 11日 埼玉県西部環境管理事務所より浄化槽放流水地下浸透事前協議確認書受領(設計事務所、嶺)
- 15日 部長会(15名出席)

【2月】

- 9日 「所沢市開発審査会」が行われ、許可相当の結果が出た
- 10日 常任委員会中止、部長会議事録、配布資料の掲示、新道場運営方法に関する“質問・意見・提案”募集、意見箱の設置
- 16日 所沢市長押印の「開発行為許可通知書」及び「開発事業承認通知書」が代表理事宛で届く
- 17日 市役所訪問(所弓連3名、設計事務所)スポーツ振興課(2名)と話し合い
- 27日 第22回新道場建設委員会(NPO 理事、監事、建設委員8名)

【3月】

- 6日 第23回新道場建設委員会(NPO 理事、監事、建設委員会10名)
- 13日 第24回新道場建設委員会(NPO 理事、監事、建設委員7名、設計事務所2名)
- 22日 第8回通常総会来賓宛案内状発送
- 27日 第25回新道場建設委員会(NPO 理事、監事、建設委員会(NPO 理事、監事、建設委員9名、設計事務所2名))
- 28日 市役所訪問(石川会長、新家先生、嶺)スポーツ振興課(2名)

【4月】

- 2日 部長会(18名出席)
- 10日 常任委員会(26名出席)
- 17日 第26回新道場建設委員会(NPO 理事、監事、建設委員9名)
- 24日 第8回通常総会開催
- 25日 所沢市スポーツ協会加盟関係書類を

スポーツ振興課に提出

- 30日 第27回新道場建設委員会(NPO 理事、監事、建設委員8名)

【5月】

- 21日 第28回新道場建設委員会(NPO 理事、監事、建設委員9名)
- 29日 第29回新道場建設委員会臨時部長会・臨時常任委員会

【総務部】**12月12日(日) 大掃除**

射場シャッターガラス拭き、留め置き弓具の調査確認整理ほか



塚・看的近辺の清掃

令和4年 1月16日(日) 初射会



巻藁射礼（新家前会長）



矢渡し（石川会長）

- 3月29日(火) 総会案内状作成（200部）
 “ 来賓宛て総会案内状発送（6通）
 4月 8日(金) 総会資料印刷・封入作業
 4月10日(土) 令和4年度常任委員会①
 4月13日(水) 第8回通常総会開催通知発送
 4月24日(日) 第8回通常総会開催

【経理部】

- ・随時：会費、弓道の普及事業費等入金確認・
報告、武道館利用料の支払い、
立替金精算実施
- ・令和4年
4月6日：令和3年度会計監査実施

【指導部】

【令和3年11月～12月】

・初心者教室

新型コロナのため、期間内に予定されていた定期講習（土曜講習会、水曜研修）及び弓道教室は全て中止となりましたが、緊急事態宣言解除に伴い11月の教室開催を決定しました。

春に応募の方10名全員が参加希望で、あと2名の参加希望者と併せて13名で開始。

3回目に道着・袴購入の説明をし、5回目から着ての練習を開始。何とか的前で矢が飛ばせる様になって来ました。

12月18日に終了。10名が入会しました。アフターフォローは坐射を中心に実施。

【令和4年1月～4月】

・寒稽古

1月4日～1月8日 参加者 延べ56名

・初心者アフターフォロー

まんえん防止措置のため集合してのアフターフォローは中止し、初心者の方たちは土曜日に半射場借りての練習が続いています。

- ・土曜講習会・水曜研修会も全て中止していますが、今年度は状況を見て注意しながら再開していきたいと思います

【4月】

4月7日に翔びたつ広場に初心者教室掲載依頼

【5月】

・初心者教室

5月21日～6月25日の毎土曜日13：00～16：30にて、全6回開催予定。

【競技部】

《所弓連主催射会》

【12月】

5日(日) 納射会

(団体)

優勝：安江仁美 関口純子 小島理恵
2位：中西誠一 仲野裕昭 坂川隆人
3位：前島あき子 深見恵子 廣瀬雅孝

(個人)

優勝：松寄恭子 2位：関口研二
3位：森下珠美 4位：坂川隆人
5位：廣瀬雅孝

19日(日)百射会

優勝：下田徹 82 中 2位：中村徳海 76 中
3位：坂川隆人 66 中 4位：田中明子 66 中
5位：飯尾 弘 65 中 6位：関口二郎 65 中
7位：安江仁美 62 中 8位：関口研二 60 中
9位：廣瀬雅孝 59 中 10位：三好啓子 56 中

【1月】

16日(日)初射会

(金的)

天位：荒木大亮 地位：三好啓子
人位：関口研二 金的賞：下田徹

(扇的)

天位：安江仁美 地位：田中明子
人位：植村亮子 扇的賞：小山和枝 藤田良
嶺美智子

【2月】13日(日)月例射会：中止

【3月】13日(日)月例射会：中止

【4月】

17日(日)総会射会

優勝：下田 徹 2位：中村康代
3位：飯尾 弘 4位：廣瀬雅孝
5位：関口研二

【5月】

8日(日)月例射会

参段以下の部 優勝：小泉恭子 2位：植村亮子
3位：湯浅紀美子

四五段の部 優勝：小山 等 2位：中村徳海
3位：飯尾 弘

称号の部 優勝：粕谷吉一 2位：下田 徹
3位：石川淳子

《外部射会結果》

【12月】

11日(土)西部支部納射会

参段以下の部 3位：仲野裕昭

四五段の部 優勝：中村徳海 4位：坂川隆人

【3月】

6日(日)埼玉県勤労者大会

優勝：所沢市役所 B チーム

飯野良平・豊田佳孝：大竹伸一

(全国勤労者大会出場決定)

【スポーツ少年団支援部】

・団員概況

令和4年4月1日現在 12名在籍
(登録団員21名中 3月卒団9名)

・主な活動

練習：計52回開催

・初心者教室は未実施

・その他：

- 12月5日 所弓連納射会 … 参加7名

- 12月18日 スポ少納射会 … 参加12名

- 3月26日 卒団式 … 中3団員 9名卒団
(射会は中止)

【所弓連ホームページ稼働状況】

(令和3年度)

- ・年間アクセス(訪問者)数：13,811件
前年比 1,827件増(約15%増)
- ・更新状況：年間27件、

∞ 投 稿 ∞

**3月12日土曜日、上尾の埼玉県立
武道館で錬士の審査を受審しました。****小林 孝則**

その日は天気も良く3月にしては暖かく絶好の弓日和でした。

普通なら勇んで今日こそはと出かけて行くところですが、今回の私の場合は違っていました。それは、2週間ぐらい前に体調が悪くなり珍しく4日間寝込んでしまいました。その時は審査は諦めるしかないかなと思いました。

それともう一つ膝の問題がありました。膝は4年前に半月板損傷で内視鏡手術を受けたもので、最近までは調子も良く跪坐なども出来ていましたが、二月の寒い日に、日本橋の有名な天井屋さんで1時間待ちの行列に並びました。その店頭は日陰の上北風がびゅーびゅ吹きとても寒いところでした。その時から膝痛が再発しました。

それからは跪坐はできることはできましたが、長時間は耐えられず、持的射礼の練習でも1回が限度と言う状態でした。そんなことで持的射礼の練習も思うにまかせず、自分としてはとてもとても審査に臨む心境ではありませんでした。

しかし、諦めかけていたところ平山先生はじめ諸先輩がたの、ダメモトだから行って来いと言う励ましでとりあえず行ってみようと思い出かけた12日でした。

当日は、不思議なことに体調もけろりと良くなり膝も曲がるようになり、万全とは言えないまでも、そこそこな状態で受審することができました。審査では師匠である下田先生に初段審査の時にアドバイスして頂いた（大きく引いて思いきり離せ）と言う言葉をなぜか思い出しそれだけを考えて皆中で引きました。

二次もとりあえず皆中できよしよしと思っていましたが、肌入れの時に大失敗してしまい不合格決定と思って帰って来ました。

淡い希望を抱きつつ待つこと1週間思いがけず合格の知らせがきました。

身体の不調、膝痛のため気負わずに臨めたことが良かったのか、本当にたまたまの合格でした。これまでの皆様のご指導のおかげの合格でした。本当にありがとうございました。これからもよろしく願い申し上げます。ありがとうございました。

「無知の知」**関口純子**

50歳近くなって夫に誘われ弓道を始めました。始めは無関心だった弓道に興味を持つようになったのは、射会で「先生方の打ち起こしや引き分け、開き足の美しさ」に感動したからです。その頃に「正射必中」と言う言葉を知りました。

単純な私は「正射必中」に心を動かされ「正射を目指せばいつか中る」と猪突猛進していききました。

だから同期達がどんどん昇段しても…どんどん的中しても…自分はただ「正射になれば必中だから大丈夫」と。

周囲が弓返し始めていても「正射になれば自然に出来るから大丈夫」と。

気にも止めず「いつか正射になるぞー」と日々楽しくお稽古してました。

数年経ったある日、先生が「正射になるのは弓を始めて30年～50年以上はかかる」と話されていたのを聞き愕然としました！無知とは恐ろしいもので私は…頑張っていれば数年で「正射必中出来る」と勝手に思い込んでいたのです。

今のままじゃ、中るようになるのに50年かかってちゃう！あれっ？100歳超えちゃう！私は急に焦りました！

中らなくちゃ昇段出来ない！中らなくちゃ月例射会の賞品ももらえない！…そんな「当たり前」に

初めて気付いたのです。

その日から「中たる射になるぞー！」とお稽古に挑みました。

が…「中たる射になる練習」とは今まで教わった事を丁寧に一つ一つ身につけていくという練習で、いつもと変わらぬお稽古でした。つまり先生は「私の正射必中と的中」をずっとひたすら教えて続けて下さっていた事を知りました！有り難さと自分の愚かさを改めて認識し…ああ恥ずかしいやら申し訳ないやら…。

それから数ヶ月後。練習内容は変わらなくても、自分の意識が180度変わったからでしょうか…今回の審査では初めて中り昇段する事が出来ました。

いろいろな場面で…ご指導いただいた先生方、先輩方、応援していただいた方々のお陰です。本当にありがとうございました。これからも歩みを止めず学んで行きたいと思います！ご指導をよろしくお願い致します。

弓道と出会って（50 過ぎの手習い）

所沢北高校 弓道部顧問 坂本 和俊

縁あって、令和3年度から所沢北高校弓道部の顧問の一人になりました。私は年齢的に昭和時代の典型、家族みんなでちゃぶ台を囲み、源平物や戦国時代などが描かれたNHK大河ドラマを観ながら育った世代なので、テレビ画面越しに弓矢が飛び交うシーンを見て、実際に弓を引いたらどんな感じなんだろうと、以前から漠然と興味は持っていました。職務の一環で弓に携わることができるのはありがたいことだと思い、弓道部に入部してきた一年生に混じって、上級生や指導経験のある他の顧問の先生方から習い始めました。

正直な感想を先に言ってしまうと、こんなに難しいものなのか、と弓道を甘く見ていた自分を反省することしきりのこの頃です。全空連系の空手

や少林寺拳法等、他の武道は経験してきており、ちょっと練習すれば的に当たるようになるだろう、くらいに考えていたのですが、とんでもない。矢引きから入ってゴム弓、素引き、巻藁、と段階を踏んで習っていき、的に立ったのが初秋の頃でした。いやあ、当たらない！当たらない！！ほとんど宝くじの様相を呈しておりました。部活が終わって生徒達が帰った後、暗くなる中、一人残り、どうやったらしっかりと当たるようになるんだろうかと、途方に暮れながら1日30～60本程度射っていました。（弓具屋さんに6本1セットが標準的だと言われたのでその通り購入し、射場を5往復～10往復した結果の本数です。）

顧問の先生や生徒達から習い続け、カメさんのように、いや、カタツムリの進む速度のように上達してきたということなののでしょうか、何本に一回かは当たるようになってきた年の暮れ、勧められて2月に初段の審査を受けることになりました。当時弓道の所作についてはほとんど知らず、入場から退場までが審査対象とのことだったので、受験前の金、土曜日の二日間、所沢弓連の方々にご指導いただきました。まず、袴の着方から直され、歩き方、座り方、礼の仕方等、片っ端から直されていった記憶しかありません。弓自体を射ったのは金曜日2本、土曜日4本でした。弓道に関わる全所作も含めての日本武道であり、価値ある日本の文化である、ということをも身を以て教えていただいたような気がします。

本番の試験では二本とも外してしまいました。が、何とか初段に合格することができました。少し、と言うか、内心かなり驚いたことがありました。受験後、日々のルーティーンとも言うべき夜の自主練を再開したのですが、受験前よりも確実に的中率が上がりました。初段を取得したことへの自信というよりも、諸々の所作を教えて頂けたことに依るところが大きいのではないかと自己分析しております。表面的な技術に囚われすぎずに、弓道という体系全てを謙虚に学ぶことの大切さを改めて気づかされた思いがしています。

この歳になって、今後の生涯を通して続けてい

けそうなものへ出会えた幸運をかみしめています。あの時ご指導くださった所沢弓連の方々、所北弓道部の顧問、部員達へ、感謝の気持ちを新たに、二段取得に向けて、修練を重ねていきたいと思っています。

七段審査に受かって

平山夏子

審査を受けるに当って、コロナ禍の中審査が延期になったりと、落ち着かない状態が続いた日々を過ごしておりました。今回受ける12月25日の審査は二次審査だけでした。ということはその前7月4日の審査で一次は通過したものの二次が駄目だったということですが...

その時は3人一つの的大前だったのですが、審査委員長から「正式な間合いで」と言われ、「え！一つの間の間合いって他にもあるの？」と、もうそこでてんばっていました。立ちまで時間も無く緊張したまま入場しました。射自体は束中したものの全体的に間合いがばらばらで揃わなかったこともあり、結果は散々でした。

なので今回道場でお時間の許す限り先生方にお付き合い頂き、一つの練習をさせて頂きました。お願いすればすぐに一つの練習ができる所沢に感謝です。射については先生方からあたたかいアドバイスを頂き、自分の足りないところ苦手なところを少しでも直すことに気を付けて練習しました。

審査当日も、受付は午後からなので会場に行く前に一手だけ引いていこうと道場に立ち寄ったのですが全く中らなくて、これはもうどうなることやらと不安になる中、弓友たちの万歳三唱に送られて意を決して会場へと向かいました。

審査会は入場時間を分けたりと、いろいろ感染対策を取りながらの工夫された審査になっておりました。関係各位の皆様へ深く感謝申し上げる次第です。

審査の状況については、緊張しすぎて思い出せ

ないことのほうが多いのですが、緊張で深呼吸をしても苦しくて中らないだろうな、今日は立ちを組む先生にご迷惑をおかけしないようにだけはいようと思い臨みました。今回は2人一つのとなり、前回組ませて頂いた先生とご一緒でしたが、立ちまで時間の余裕があったのでいろいろ動きを合わせられたのが良かったと思います。

時間は5時を過ぎて辺りは真っ暗で、緊張の中放った甲矢は音はしたもののどこへ飛んだのか、中ったのか叩きだったのか判りませんでしたが、表示盤に○が付きちょっとホッとしました。乙矢は何も考えず離れましたが、的中したことだけははっきり判りました。

控えに戻り結果を待つ間気が気ではありませんでしたが、幸い立ちを組んで頂いた先生共々合格を頂くことが出来ました。

今回受かった事については我ながらいまだに只々信じられない気持ちで一杯です。審査を受けた結果だから認めて頂いたのは嬉しいのですが、七段という段位の大きさに改めて日々おののいているような状態です。

初心の時に感動した「射即人生」を追求しながら四半世紀！こんなに長く続くとは思ってもみなかったのですが、これからも楽しい弓を仲間と共に続けていきたいと思っています。

所弓連の皆様これからもよろしくお願い致します。

玲

仲野 裕昭

令和4年2月23日、県立武道館の審査にて参段の認許を頂く事が出来ました。まずは常日頃より丁寧な御指導下さる諸先生方をはじめ励まして下さる先輩方、切磋琢磨している弓友の皆様のお陰にて深く感謝を申し上げます。

コロナ禍において1年2か月程道場から足が遠のいてはありましたが私の記憶が正しければ、合計9回ほど参段審査には挑戦してきました。そのうち6回の審査では片矢（主に甲矢）を中りはしたものの不合格という結果に辛酸をなめ続けてきました。・・・がしかし、審査回数を重ねるごとに

自分の行射の未熟さに気付かされ毎回、徐々にひとつひとつの課題を少しずつ修正しながら現在に至る状態です。

弓に対して特に本腰を入れるキッカケとなった事件がございます。それは同期である蒲生氏と共に参加した西部支部講習会でした。弓に触れる事に久しい私に比べ、弓返り出来ている蒲生氏。そして参加している受講者の質の高さ。完全に取り残された感というよりは何故だかの敗北感。正直ショックで動揺を隠せずにはいられませんでした。上手になりたい、質を高めたい等という格好の良い理由ではなく単純に悔しくて弓道に対する想いに火が付いたのを鮮明に覚えております。

そうと決まれば風の如く行動する私。まず考え実行したのは初心者教室からお世話になっている平山師匠が道場にいらっしゃる刻に私が稽古時間を合わせ基礎から徹底的に学ぶ事でした。昼過ぎからの一日僅かな時間での稽古量ではありますが、今まで月例射会等でも顔を合わす事が無かった先生方・先輩方にも少しずつ慣れてきていろいろ声やアドバイスを掛けて下さる等、とても素敵な時間を過ごす事が出来てすくすくと育っていく自分に実感が沸きました。毎日が多くの先生方から学ぶ講習会の様、いや英才教育そのものであります。

更に、三好先生からのお声掛けにより上橋先生から竹弓を譲って頂いたのも増々やる気になる出来事のひとつではありました。また大変失礼ではありますが、私的に恐いイメージのある永島先生に勇気を振り絞り、袴のはき方や弓道の事を教わりに伺ったら、とても親切丁寧で解り易く御指導して下さい、尚且つ稽古中にもお声を掛けて頂けるようになったのは嬉しくて仕方ありません。

ここには書ききれない程、沢山の先生方・先輩方に温かく見守られ育てられている私は本当に幸せ者であります。

笑い話として、当時あまり面識のなかった住田先生から「お仕事は何ですか？」と笑顔で話しかけられたので、心の距離感を縮めたかった私は「オレオレ詐欺をやってます」と冗談で答えたにもかかわらず、本気にとられ暫くの間、口を利いてくれなかったのも今では忘れられぬ笑談です。

情けない話としてもう一席。それは審査3日前の出来事でした。部屋のちょっとした段差に足を取られ前のめりに転倒しました。倒れ込む中、スローモーションの様に目の前に床が近づき「ここで手を着いて骨折したら審査を受けられないぞっ！！」と頭の中で声がしたので迷わず顔面より着地する事を選択。両手を『離れ』の如く左右に大きく広げ、右目上側部より床に進入して速度を落とし、向きを変え左目上側部でこすってブレーキ

を掛け見事に着地成功。両の手は無事！！まさにミッション・イン・ポッシブルでございました。両目廻りがギザギザ傷のかさぶただけで稽古に行ったときに先生方からの爆笑をかつさらったのは云うまでもありません（笑）

恵まれている縁や環境に感謝を申し上げます。本当に有難うございます。さて、長々と日常の出来事を綴りましたが、審査当日の話。甲矢は7時の方向に中り、乙矢は12時の方向に外れ。今までの結果とさほど変わらず今回も不合格であろうと落ち込んでいた数日間から一変、合格の発表。喜びの気持ちの反面、正直なぜ合格したのか？どこが良かったのか？が、まるで判りません。解らないから探求して精進致します。ですから、これからも先生方・皆様 御指導の程、宜しくお願い致します。

尚、タイトルの「玲」ですが、この字は玉が触れ合った時の澄んだ音を意味することから、大好きな弓やその稽古場にあるぴんと張った透明感や緊張感を表してみました。

会長月誌（抄）∞

【令和3年12月】

- 5日 所沢市弓道連盟 納射会参加
- 11日 午前10時から新道場建設近隣説明会
(小金井設計2名、嶺先生、石川)
- 12日 大掃除(午後1時～2時30分)
武道館調整会議(午後3時～4時30分)
(増田、石川出席)
- 18日 故松沢範士追悼射会 出席
熊谷運動公園弓道場
- 19日 所沢市弓道連盟百射会 開会式参加
第20回新道場建設委員会
(午後3時～4時50分)
- 29日 熊野神社へ年末の挨拶に行く
(増田、石川)

【令和4年1月】

- 9日 第21回新道場建設委員会打合せ
- 15日 第3回部長会
(午後1時～3時 武道館大会議室)
- 16日 所沢市弓道連盟 初射会参加
(午前9時30分～12時30分)

【2月】

- 27 日 第22回新場建設委員会打合せ
(午後3時～5時)

【3月】

- 1 日 斎藤スポーツ協会会長に新道場の開発許可が下りた事を報告
- 2 日 顧問の秋田議員、並木先生に新道場の開発許可が下りた事を報告
- 6 日 第23回新道場建設委員会打合せ
(午後3時～6時5分)
- 11 日 西部支部理事会書面表決結果を本橋先生草賀先生両西部支部参与に郵送
- 12 日 西部支部理事会書面表決結果のメールを西部支部参与、理事に転送
- 13 日 西部支部総会・評議員会射会の中止の連絡メールを評議員に転送、
第24回新道場建設委員会打合せ
(午後3時～6時30分)
- 27 日 第25回新道場建設委員会打合せ
(午前9時～12時)

【4月】

- 2 日 部長会 (午前9時～12時)
- 6 日 会計監査 (午後5時30分～7時)
- 10 日 常任委員会 (午後1時～3時)
- 11 日 法人市民税減免申請書を郵送
- 14 日 市民税課より申請書収受の連絡(郵送)
- 17 日 県評議員会 (午前9時30分～12時)
関東ブロック大会第1回役員会
(午後1時～3時30分)
第26回新道場建設委員会打合せ
(午後5時10分～6時20分)
- 24 日 第8回NPO法人所沢市弓道連盟
通常総会 (午後1時30分～3時30分)
- 28 日 故岩村優子さんのご遺族へ県連・西部支部・所沢市弓道連盟の香典をお届け
- 30 日 第27回新道場建設委員会打合せ
(午後3時～4時30分)

【5月】

- 8 日 月例射会参加 (午後1時30分～4時)

∞ 訃報 ∞

令和4年3月

岩村 優子 殿 (享年76歳)

令和4年4月14日

見原 重信 殿 (享年82歳)

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

∞ 編集後記 ∞

引っ越しに伴い、4年前に和光弓連から所弓連に異動いたしましてから、ほぼ半分の期間がコロナ禍となつてしまい、皆様にお目にかかれる機会が少なく、未だお顔とお名前が一致せず苦慮しております。

審査、大会、月例射会などの行事が徐々に開催されており嬉しい限りですが、入会当初から参加させて頂いていた草賀先生による土曜講習会の再開も、心待ちにしている方々が多くいらっしゃると思います。段位に関係なく参加出来るという、月に一度の大変貴重な時間でありました。

暖かく過ごしやすい日々が増えて参りました。夏恒例の武道館入り口前花壇のグリーンカーテンですが、昨年はかわいい瓢箪がいくつも実っていました。今夏は何を植えてくださるのか今から楽しみです。

北澤明子

所沢市弓道連盟会報誌 所弓便 第27号

編集委員 飯島稔凱 細川 博

沖田純子 北澤明子

発行日 令和4年5月31日

発行者 NPO 法人所沢市弓道連盟

会長 石川淳子